

# 履歴書

H 2 4 年 6 月 7 日現在



ふりがな		くらもと	ゆうき
氏 名			
倉本 祐樹			
出身地		年齢	※
岡山県岡山市		(満 29 歳)	男・女
参加した NICE ボランティア		分野	
中長期ボランティア		福祉・教育	
場所	インド kundapura		
(国・市町村まで記入)			
受け入れ団体	FSL INDIA		
満足度			85%
活動のやりがい度			100%

こんなボランティアでした

知的障害、身体障害などを抱えた子供たちの養護学校にて、子どもたちに合わせたデイリートレーニングのサポートや、学び、体験の授業の企画運営や、他校との交流の場づくり、異文化交流プログラムなどを実施しました。

年齢	経歴
20	アパレル販売員として従事
24	退社後中長期ボランティアに参加
25	栃木県市貝町にて「若者自立塾・栃木」の専従 STAFF として従事
26	栃木県宇都宮市にて 2tree cafe を開業
29	結婚、一児の父となる
趣味・特技	ジャンベ、料理、
座右の銘	明日は明日の風が吹く
参加までの旅行経験・ボランティア経験	
中3の夏休み、岡山市と姉妹都市であるブルガリア、プロブディフ市にホームステイ。	
アパレル職退社後、バリ島にて児童養護施設のボランティア、スタディーツアーに参加。	

記入上の注意 1：鉛筆以外の黒または青の筆記具で記入。2：数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書く。

3：※印のところは、該当するものを○で囲む。

志望動機
友人の旅の写真を見たときのことです。そこにはカンボジアのごともたちのちいさな目をきらきら輝かせた何とも素敵な笑顔がありました。大人になり当たり前のように過ぎていく日常を過ごしていた時期だったので余計に心に残りました。世界の知らない場所にもう一度身を置いてみて、自分がこれから暮らしていくなかで本当に大切にしたいことをみつけてみようという決断でした。

行くまでに心配だったこと（どう乗り越えたか）
英語があんまり話せなかったのをそれだけが心配でした。幸いにもインドで集っていたヨーロッパ、アジアからのボランティアメンバーは言葉だけでなくちゃんとハートでつながれたので助けられました。あとはあまり心配はありませんでした。

家族・友人・学校・職場の反応（私はこうやって説得した!）
職場の上司は「戻りたいときはいつでも戻っておいで」と、自分の道を応援して励ましてくれました。そんな環境で働かせてもらっていたことがとても嬉しかったことを覚えています。

ワークキャンプとその後の人生（進路決定、参加経験が役立っていること等）
中長期ボランティアの事前研修で前 NICE STAFF のよしさんと出会い、栃木で活動していた「若者自立塾」のことを知りました。いろいろな理由で孤独を感じ、社会にうまく溶け込めず立ち止まってしまう同世代のことが感覚的に気になっていました。「環境」「共感」「つながる」というキーワードを軸に、もっと生きることに関わりになれるようなフィールドをつくりたい、ちいさな一歩から自分で動いてみたいという思いで中長期ボラ終了後一年たってから、たつやさんにご縁をいただいて栃木へ移り住み自立塾で活動させていただきました。その経験を元に身近な方々に協力いただいて若者と地域の魅力を引き出しながら新たなムーブメントをつくるための拠点「2tree caf・」を宇都宮市に OPEN してもうすぐ 3 年になります。

成長ダイアグラム ※	これから参加を考えている人へ、熱いメッセージを♪
	<p>自分の気持ちに正直に動いてみることで言葉では簡単に言えちゃうけど意外と難しいと思っていました。好きなことに純粋になれたとき、そこから自分の歩む道は仕事にしても暮らしにしても良い変化が芽生えてくる、そんな気がしています。</p> <p>中長期ボランティアに参加したことで国内、海外と大切と思える人に数多くであうことができたことが僕にとっては宝物です。これから参加するみなさま、人生を輝かせる良い旅でありますように。</p>

※成長ダイアグラム（5＝とても得るものがあつた・良くなった。4＝まあまあ得るものがあつた・良くなった。3＝前と変わらなかった。影響なし。2＝前よりもやや劣るようになった・悪くなった。1＝前よりもずっと劣るようになった・悪くなった。）